

# えがお



## 東春近小三年生「地域探検」



東春近小学校の3年生は、社会科及び「はばたき」の時間（総合的な学習の時間）に、地域探検をして、校区の旧跡や歴史を学んでいます。講師をしていただくのは、東春近公民館長の野溝和人さんです。



講師の野溝和人さん

1回目は、田原・下殿島方面の「薬師庵」、「宗福寺」、「白山神社」、「お蝶様（長姫堂）」、「天王社」等に行きました。

2回目この日は、原新田・榛原・車屋方面の探検で、最初は、「殿島学校発祥の地」と隣りの「春近神社」に行き、説明を聞きました。次に、山道を登って「殿島城址公園」で、殿島氏や武田信玄と戦った上伊那の八人の武将の話等を聞きました。ここから、江戸時代に新田開発がされた記念碑が立つ「一本松遊園地」、殿



(上)一本松遊園地にある「原新田発祥の地」の石碑  
(下)一生懸命メモをとっています



(上)春近神社：中殿島  
(下)殿島城跡の城門：暁野



パソコンや携帯で「伊那市えがお」と検索するか、下のQRコードから入ると、令和4年度分からカラーでご覧いただけます。



令和6年度  
No. 2  
7月16日



(上)木の下に「原榛支校」の碑があります：原新田  
(下)竜宮社：原新田



島学校までが遠いので、支校があった「原榛支校跡」、さらに「竜宮社」、「天王社・榛原支校」を見学し、「三峰川榛原河川公園」で昼食をとりました。この後、水害除けを願って経文を埋めた「経塚」、最後に「老松場古墳群」を見学しました。暑い一日でしたが、3年生の皆さんは、長い距離を頑張って歩き、多くの地域の歴史に触れ、充実した学習をすることができました。



(左)老松場古墳公園の1号古墳：中組  
(右)経塚：車屋

## 伊那市人権同和教育合同研修会 「同和教育とどのように向き合うか」 南信教育事務所生涯学習課 指導主事 南波 秀治 先生

毎年2回、伊那市人権同和教育推進委員の皆様、市内中学校の人権同和教育担当の先生方、市役所人権関係7課の職員が集まり、合同研修会を行っています。



講師の南波秀治先生



中学校区ごとのグループ協議の様子

今回の第1回研修会では、前半に伊那市の令和6年度人権同和教育の計画を発表し、続いて同じ中学校区のグループに分かれて、各校の同問題の授業の様子や小・中学校の学習内容の情報共有と小・中学校のつながり、市役所関係7課の人権に関わる取組などについて話し合われました。

後半では、南信教育事務所生涯学習指導主事の南波秀治先生を講師に、同問題の現状、「同問題ミニ講座」、授業の必要性、同問題とかわる人たちの出会いなど、様々な内容でお話を聞き、参加者が自分自身の理解を深める必要感や授業に取り組みむ意欲を持ち、同問題への意識を高める研修会になりました。

## 高遠中「親子ふれあい講座」



高遠中学校では、第2回の授業参観日に、「親子ふれあい講座」がおこなわれました。地域の人材を講師として招き、生徒と保護者が7つの講座に分かれて、親子いっしょに活動しました。それでは、7つの講座の様子を紹介します。



『高遠まんじゅう』  
【講師：あかはね 赤羽 敏 さん】

「練切り」「草餅」「三角ちまき」を作りました。赤羽さんに作り方を教えていただいた後、グループで教え合いながら、楽しく和菓子作りに挑戦しました。



今回の第1回研修会では、前半に伊那市の令和6年度人権同和教育の計画を発表し、続いて同じ中学校区のグループに分かれて、各校の同問題の授業の様子や小・中学校の学習内容の情報共有と小・中学校のつながり、市役所関係7課の人権に関わる取組などについて話し合われました。



『ボッチャ』  
【講師：伊那市スポーツ推進委員の皆さん】

今年度からの新しい講座です。上手な送球に大きな拍手が送られ、盛り上がっていました。



『パステル&ペーパーキリング』  
【講師：小木曾 夏美 さん】

「パステル材」を用いて絵を描いたり、紙を使ったお花等の飾りを作ったりしました。



『高遠焼』  
【講師：浦野 真吾 さん】

「手びねり技法」を用いて、お茶碗を作りました。



『茶道』  
【講師：井口 あけ美 さん】

お茶の淹れ方を体験を交えながら教わり、お菓子とお茶をおいしくいただきました。





『ケーキ作り』

【講師：菓匠 Shimizu 清水 慎一 さん】

ホールケーキの飾りつけを体験しました。最後まで集中して、自分の「夢ケーキ」を作りました。



『バレーボール』

【講師：VC長野トライデンツ 山田 航旗 さん 糸山 大賀 さん】

体育館中に、元気な声が響き、練習やゲームをして盛り上がりました。

### 長谷小「よもぎを使ったお菓子の試食会」



長谷小学校では、伝統行事として「よもぎと」が祖父母の皆さんの代からずっと続いてきました。ところが、よもぎを買い取っていただいていた業者が撤退してしまったため、昨年度か

このように魅力的な講座が揃い、参加した生徒や保護者の皆さんは、それぞれの活動を十分に楽しみ、満足した様子でした。  
「親子ふれあい講座」は、多くの保護者が学校に足を運び、親子の関係を深めるだけでなく、キャリア教育の視点から職業について考えるきっかけになり、また自分が住む地域に素晴らしい講師の方がいて、地域貢献をしていることを知り、地域を誇りに思う気持ちを育むことにもつながる有意義な取組でした。



(上)4種類のお菓子をもらいました。(下)みんなで試食しました。



ら伊那食品さんが、お菓子業者に声をかけて、よもぎを使ったお菓子作りを実現させてくれました。  
今年も、保護者や高齢者クラブの皆さんと「よもぎとり」をして、およそ380kgのよもぎがとれ、この日は、関係した皆さんが集まり、「お菓子の試食会」が開かれました。  
最初に、お世話になった皆さんの紹介後、売上金の贈呈がおこなわれました。その後、「よもぎがお菓子になるまで」という、とれたよもぎが、本高砂屋さんの新潟工場に送られて「よもぎペースト」が作られ、それが問屋さんやお菓子業者に送られて、お菓子が作られるというお話を聞きました。  
そして、いよいよお菓子の試食の時間がやってきました。児童、保護者、高齢者クラブの皆さんは、持ってきていただいた4種類のお菓子をもらって、試食しました。



《お菓子作りでお世話になった皆様》

左から、すずらん株式会社の米山さん、ファーム長谷の羽場さん、伊那食品工業株式会社(かんでんばば)の湯澤さん、伊藤さん、青木さん、村松さんです。

この日には、お見えになりませんが、みのわ加工さん、ドルチェカーリーナさんにもお世話になりました。



(右)湯澤さんから、売上金が渡されました。(左)伊藤さんから、よもぎがお菓子になるまでの説明を聞きました。

### 西春近北小 「高校生のクラブ支援」



西春近北小学校では、「ボール運動クラブ」の活動として、今年度「ベースボール型ゲーム」のソフトボールに取り組みようということで、伊那西高校ソフトボール部の皆さんに講師をお願いしました。これまで、学区内の高校として、音楽会や一四〇周年の時に合唱部や吹奏楽部と交流をしてきましたが、今回、ボール運動クラブの講師を依頼したと



あかはね さん (左)「くさコロ」(まもなく発売予定)、(右)「草餅」



ドルチェカーリーナ さん 「よもぎ入りブルドネージュ」(数量限定)



みのわ加工 株式会社 さん 「テラドーナツよもぎ」(今回限定)

児童の皆さんは、よもぎのお菓子をおいしく食べた後、「生地が柔らかくておいしかった。」「自分たちがとったよもぎがこんなにおいしくなっていたよ。」等の感想を発表してくれました。  
この日は持つてくることはできませんでしたが、ファーム長谷さんでは、「よもぎジェラート」を作った販売する予定で、昨年度も大変好評だったと聞きしました。最後に、感謝の気持ちを込めて、「讃歌ー長谷」を歌いました。  
長谷小学校が大事に続けてきた伝統行事が、伊那食品さんの目にとまり、お菓子業者の皆さんの協力によって、児童の皆さんが自分たちの活動の成果が実感できたり、保護者や高齢者クラブの皆さんと喜び合ったりできる、学校と地域と企業とが連携した素晴らしい取組でした。



今年度からはじまった生け花クラブ



今後の活動がますます楽しくなっていくと思います。

「茶道」、「生け花」の講師は地域の方々で、講師は、コミュニティースクール運営委員会「ごんげんまなびや応援隊」の皆さんが中心になって探していただいているそうです。  
さて、次回からゲーム形式の練習に入っていくというので



(上左)守備練習と(上右)バッティング練習をしました。(下)最後に全員で記念撮影をしました。



ころ、快く引き受けていただきました。高校生にとっても「キャリア教育」の一環として、小学生と関わる経験ができ、共に学び合える取組です。  
毎回のクラブには、17名の部員さんが交代しながら参加しますが、この日は6名の皆さんが指導に来てくれました。準備運動の後、キャッチボールや守備練習をするグループとバッティング練習をするグループに分かれて、活動しました。  
感想を聞くと、小学生は「教え方が上手で、わかりやすい。」、高校生は「素直で教えていて楽しい。」と話していました。小学生が使用していたグローブは「大谷グローブ」と地域の方から寄付していた